

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		社会福祉総務事務事業						予算事業名		社会福祉総務事務経費			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	民生委員法, 社会福祉法				
			03	01	01	0501	経常経費						
総合計画体系	1ともに支えあい, 安心して暮らせる社会福祉の充実(保健・福祉)						事業の区分	主要事業					
	1-2地域で支えあう社会福祉の充実(地域福祉)							重点事業					
	②地域福祉ネットワークの充実						担当課係等	社会福祉課					
	1地域福祉推進機関の充実							企画管理係					
事業期間		継続 (昭和29年度～令和 5年度)											
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
・社会福祉関係団体の運営補助を行うことで, 各団体における活動の維持, 推進等を図る。 ・地域の見守り活動, コミュニティの活性化を図るための人材育成を推進する。							・地域福祉の担い手であり, 地域のボランティアや人材をコーディネートする各種福祉団体の活動を支援するため。 ・最近の社会情勢においては, インフォーマルな住民支援が求められ, 期待されている。						
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】						
・地域福祉の担い手として期待される社会福祉団体への運営補助 ・市社会福祉協議会運営費補助事業 →ボランティア活動推進事業, 奉仕員養成研修事業, 福祉教育推進事業 ・市民生委員児童委員事業(定数増 R1.12:89人→93人) →地域見守り活動事業, 福祉情報の提供・相談支援 ・社会を明るくする運動推進:あいさつ運動, PR活動の実施							市民, 各補助団体(市民生委員児童委員協議会, 市社会福祉協議会, 保護司会等)						
【令和 3年度 事業内容】							【令和 4年度 事業内容】						
・地域福祉の担い手として期待される社会福祉団体への運営補助 ・市社会福祉協議会運営費補助 ・市民生委員児童委員事業 ・社会を明るくする運動推進:あいさつ運動, PR活動の実施							・地域福祉の担い手として期待される社会福祉団体への運営補助 ・市社会福祉協議会運営費補助 ・市民生委員児童委員事業 ・社会を明るくする運動推進:あいさつ運動, PR活動の実施						
【令和 5年度 事業内容】							【令和 5年度 事業内容】						
・地域福祉の担い手として期待される社会福祉団体への運営補助 ・市社会福祉協議会運営費補助 ・市民生委員児童委員事業 ・社会を明るくする運動推進:あいさつ運動, PR活動の実施							・地域福祉の担い手として期待される社会福祉団体への運営補助 ・市社会福祉協議会運営費補助 ・市民生委員児童委員事業 ・社会を明るくする運動推進:あいさつ運動, PR活動の実施						
■事業費													
			R01年度		R02年度								
財源内訳	国庫支出金	0		0									
	県支出金	0		0									
	地方債	0		0									
	その他	0		0									
	一般財源	40,289		43,295									
歳入計(千円)			40,289		43,295								
歳出内訳	節(番号+名称)		金額(千円)		金額(千円)								
	07 報償費		106		0								
	08 旅費		0		46								
	10 需用費		816		807								
	11 役務費		27		11								
	18 負担金補助及び交付金		39,340		42,431								
	歳出計(千円)(A)			40,289		43,295							
伸び率(%)					7.46								
備考	総合計画 54ページ 予算書 67ページ												

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	運営を補助する社会福祉関係団体数	団体	目標	6.00	6.00	6.00
			実績	6.00	0.00	0.00
	地域見守り活動参加団体数	団体	目標	32.00	32.00	33.00
	結城市地域見守り協定を締結し見守り活動に協力している団体数		実績	32.00	0.00	0.00
成果 指標	民生委員活動延べ日数	日	目標	12,015.00	12,015.00	12,015.00
			実績	11,945.00	0.00	0.00
	地域見守り活動における通報認知件数	件	目標	5.00	5.00	5.00
	地域見守り活動において発見された市民の異変についての通報件数		実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	各種団体の運営を補助することで、活動の維持推進を図ることができた。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	各種団体への運営補助は、市が実施主体となり交付することが妥当である。
	手段の妥当性	A 妥当である	負担金については人口割や世帯割により、補助金については補助金交付要項により交付しており妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらも言えない	今後事業の検証をすればさらなる効率化の余地はある。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	負担金については人口割や世帯割により、補助金については補助金交付要項により交付しているため偏りは見られない。
有効性	成果向上の余地	B どちらも言えない	各種団体の活動はボランティア的活動が大であり、地道な活動の積み重ねであるため成果判断は難しい。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	予定どおりの活動ができた。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
市社会福祉協議会運営補助金は、そのほとんどが人件費に充てられるものであることから、市として継続して支援をする必要がある。西地区保護司会負担金や民生委員事業補助金などは、地道な活動を積み重ねるための運営費を補助するものであり、予定の事業が実施され効果を上げることができた。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
市社会福祉協議会運営補助金については、常駐市職員との情報共有や連携を図りながら、継続して協議会の事業の見直しと組織体質の改善への指導監督の強化を図る他、事業費及び人件費に財政調整基金を取り崩し補助金で不足する分を補っているため、安定した組織運営を図る上で、補助金の随時見直しが必要である。 その他、各種団体に対する補助金については、目で見えにくい社会福祉の増進に寄与するための運営費に充てられるものであり、今後も補助継続もしくは必要に応じての補助拡大について随時検証する。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☒ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 地域福祉の増進のため各福祉団体と連携し、効果を高めるよう事業の改善改革を図る。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	